

THE FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

居留地会議

旧居留地連絡協議会・会報No5・1990年4月15日



美しい街、旧居留地。

東遊園地の整備が着々と進んでいます。かねて当会より市に要望書を提出した旧居留地のエントランスも、スロープ、花壇が整備され、美しく生まれ変わります。東遊園地の中央ゾーンも、まもなく植栽工事が完了。あとは平成2年度の南ゾーンの完成を待つばかりとなりました。

平成2年度には、石とレンガで

造られた居留地風のレストハウスが噴水広場に新築されるなど、居留地の歴史を感じさせる建物もお目見えする予定です。

東遊園地の整備と並行して、旧居留地内も整備が進んでいます。関西電力の協力による電線の地下埋設、そして市による道路の緑化や照明灯の充実。数年前とは見違えるばかりです。

東遊園地から旧居留地を通ってメリケンパークへ。このコースは、ますますみなさまに親しまれていくことでしょう。ふたつの大きな公園を背後にひかえた旧居留地は、その恵まれた環境もさることながら、歴史と風格のある、うるおいのある街として、大きく前進しています。(写真は、東遊園地から旧居留地仲町通りを撮影したもの)



金森倉庫は、手前から、ピヤホール、ショッピングモール、音楽ホールとして保存活用されています。

絵になる、函館。

旧居留地連絡協議会顧問 武田則明

函館は安政6年(1859)長崎・横浜とともに、わが国最初の国際貿易港として開港。神戸に先がけること9年の都市であり、外国文化の流入によりエキゾチックな町並みが形成されていきました。あいつぐ大火に被害を受けながら、広幅員の街路が整備され、矩形の整然とした現在の函館市の市街地が形成されました。

昭和53年「函館の歴史的風土を守る会」を学識経験者が中心となって結成。市に対して建物の評価と保存・利用に関する提言を行ったり、講演会、他都市の見学、会報

の発行を行っています。また設立10周年を記念して「函館のまちなみ」も発行。一方、行政も西部地区伝統的建造物群の調査を昭和57年から開始し、昭和63年度に歴史的景観地域の指定及び伝統的建造物群保存地区を決定しています。

函館市は函館山を頂点とする三角形の形に海に張り出した形をしており、函館山の麓にオールドタ

ウンを形成しています。現在は市の中心部が狭いために元町・末広町を中心とした場所から駅前に移り、さらに五稜郭の方へ移っていますが、港に面して並ぶレンガ倉庫群がピヤホール、レストラン、ショッピングモール、また200人収容できる音楽ホールとして保存活用されており、多くの観光客だけではなく市民が集うゾーンとして注目を浴びています。これには金森倉庫という一つの企業の都市への貢献を高く評価する必要があります。

安田信託銀行で、「旧居留地パネル展」

2月19日(月)から2ヵ月にわたって、ロビーで「旧居留地のパネル展」を開催。味わい深い旧居留地の建物を多くの人々にご覧いただければと、銀行内の「KOBEOオリジナルプランニングチーム」が企画したもので、旧居留地の歴史やショップを紹介したPR誌「旧居留地 in Kobe 74」や「神戸居留地マップ」も発行。安田信託銀行には、今年のクリスマスキャ

ロール開催時にも、中心になり、聖歌隊を組んでいただきましたが、その多彩な活動ぶりには目を見はるものがあります。



オープニングレセプション、写真左は南会長、写真右は、渡邊邦彦支店長。

4月29日(みどりの日)、開催決定。

Classic Promenade Concert

第2回 旧居留地
クラシックプロムナードコンサート

■とき

4月29日(みどりの日)午後2時から、
午後4時からの2回・無料
雨天決行

■ところ

旧居留地プロムナードスクエア
(太陽神戸三井銀行神戸本部前広場)
関西新進気鋭のプラスアンサンブル、「コウベ
プラス・ソリスト」によるクラシック演奏。

■主催/旧居留地連絡協議会

冬のイベント成功。 「旧居留地のクリスマスキャロル」

春の“プロムナードコンサート”につづく冬のイベント“旧居留地クリスマスキャロル”を12月17日(日)に開催いたしました。スタートは午後6時、大丸前の居留地碑の前で、クリスマスソングのコーラス。つづいてキャンドルを手に太陽神戸銀行前

へ。歩道にはあふれるばかりの観衆がつめかけました。そして太陽神戸銀行前、オリエンタルホテルでのコーラスにつづいて、メイン会場の神戸市立博物館へ。博物館ではピアノソロの演奏も。

コーラスのきれいな響き、ひとりひとりがキャンドルを手に、夜の居留地を歩くシーンは、美しく幻想的な趣きがありました。

クリスマスキャロルの成功は、みなさまの参画と、ご協力の賜です。約2ヵ月にわたってコーラスの練習を続けられたみなさま、また、コーラスを指導いただきました北村信雄先生をはじめ、神

戸土曜会合唱団のみなさま、また、ビルにリースを飾るなど、居留地のクリスマスの雰囲気を盛りあげていただいたみなさまなど、多大なご協力に感謝申し上げます。(写真は、オリエンタルホテルロビー)



旧居留地を レトロなバスが走ります。

4月7日(土)から、旧居留地→三ノ宮→北野異人館→メリケンパーク→南京町のコースを、環状に走る神戸市交通局のループバス「シティー・ループ」が運行しています。これは昨年の例会で(助神戸

国際観光協会から報告があった計画が実現したもので、旧居留地内は、仲町通りから京町通りに抜けて、神戸市立博物館前が停留所です。バスはグリーンを基調にしたレトロな雰囲気。車内も、木の素材を活かしたあたたかみのある内装です。

料金は大人200円、小児100円。乗り降り自由の一日乗車券は大人500円、小児250円です。

旧居留地連絡協議会ニュース

(1989年10月～1990年3月)

10月●会報「居留地会議」第4号発行(20日)

12月●旧居留地クリスマスキャロル開催
(17日、午後6時より、大丸前→太陽神戸銀行前→オリエンタルホテル→神戸市立博物館)

- 臨時例会(20日、神戸船舶倶楽部)
- 懇親忘年会(20日、オリエンタル)

1月●臨時例会(12日、ニッケビル)

〔都市景観条例に基づく届出を〕

神戸市では、昭和58年に旧居留地地区を都市景観条例に基づく都市景観形成地域に指定しています。当地区内において建築物等の新・増・改築、除却、外観を変更することとなる色彩の変更などを行う場合には必ず届出を行って下さい。また都市景観に関するご相談についてもお気軽にお越しいただきたいと思ひます。

問合せ先 神戸市役所都市計画局計画課
都市景観係
TEL 322-5484(直通)

旧居留地連絡協議会会員

- 朝日ビルディング神戸支店
- 朝日生命保険相互会社神戸支社
- 千代田火災海上保険
- 中央興業
- 第一ビルディング神戸事業所
- 大広神戸支社
- 大協殖産
- 大丸神戸店
- 大倉庫
- 電通神戸ビル管理事務所
- 同和火災海上保険神戸支店
- 大日産業神戸支店
- 平和不動産神戸出張所
- 兵庫果農農業会館
- 兵庫信用保証協会
- 兵庫クレジットサービス
- 兵庫銀行本店
- 入江ビルディング
- 兼松江商
- 川崎汽船
- 関電産業神戸営業所

- 関西電力
- 関西殖産
- 華東聯合有限公司
- 建隆エステート
- 神戸銀行協会の店
- KDD神戸支店
- 鴻池組神戸支店
- 神戸ビル管理
- 神戸貿易協同組合
- 神戸民生系取引所
- 神戸市生活協同組合
- 神戸市立博物館
- 神戸信用金庫本店
- 公共建物神戸事務所
- 近藤商店
- 和不動産神戸支店
- 松岡不動産
- 松下電器産業
- 明海興産
- 三菱銀行神戸支店
- 三菱信託銀行神戸支店

- 日本銀行神戸支店
- 日本毛織
- 日本長期信用銀行神戸支店
- 農林中央金庫神戸事務所
- ノザワ
- NTT神戸料金センター
- NTT神戸ネットワーク・センター
- NTT三宮支店
- 西日本銀行神戸支店
- オギサカ
- 大林組神戸支店
- オリエンタルホテル
- ポール・スチュアート・ジヤパン
- 菱光証券
- 三菱工業
- 神栄
- 神栄石野証券
- 神港ビルディング
- 商工組合中央金庫神戸支店
- 商船三井興産神戸事務所
- 住友生命保険相互会社神戸西支社
- 三共生興不動産
- 塩田商社
- 大清社

- 太陽神戸三井銀行神戸中央支店
- 太陽神戸三井銀行神戸本部
- 泰神殖産
- 大正海上火災保険神戸支店
- 泰和実業
- 高砂商行
- 東海銀行神戸支店
- 東京海上火災保険神戸支店
- 東神ビルディング
- 山本ビル
- 安田信託銀行神戸支店

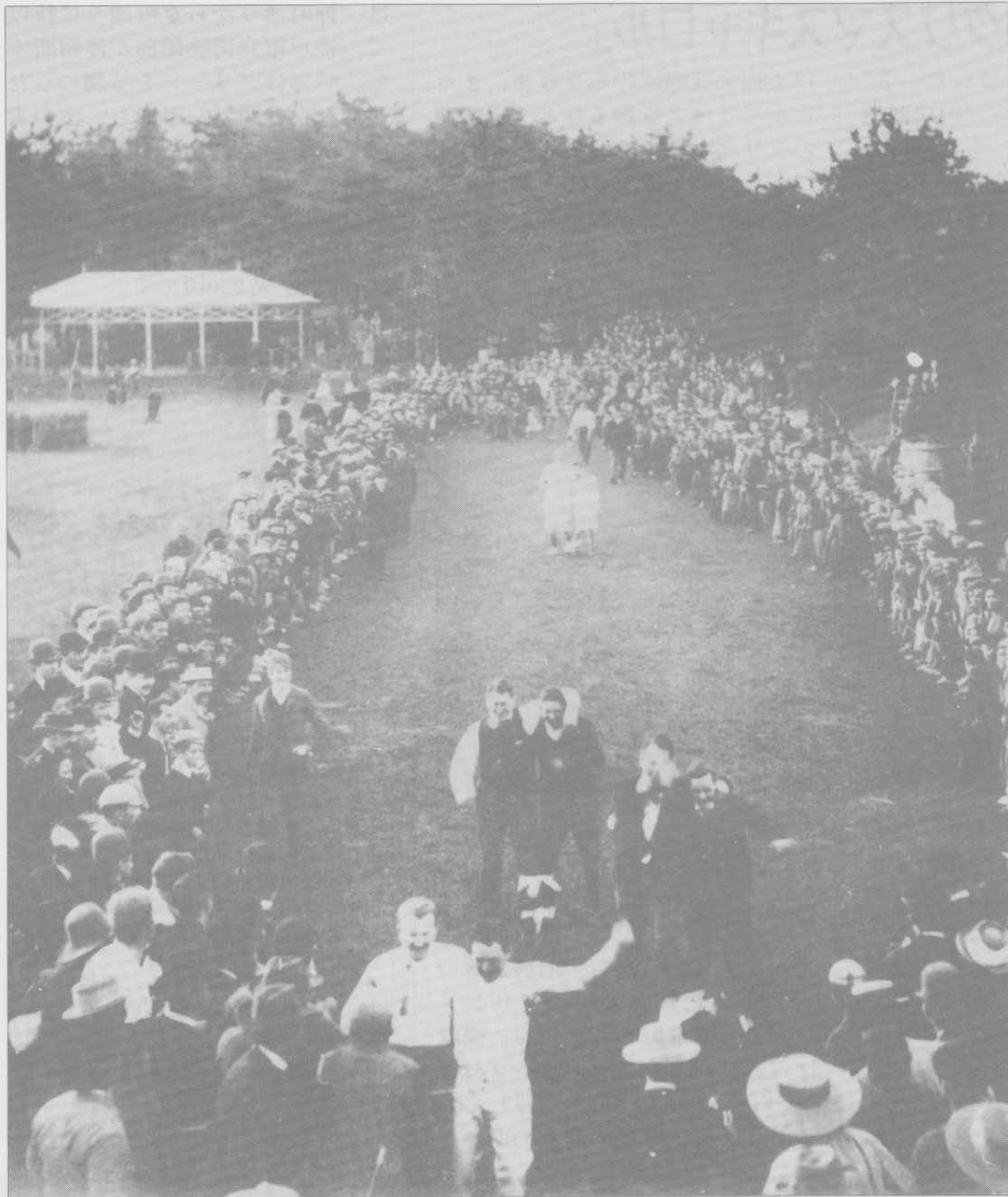
(1990年4月現在、79社)
●名簿はA B C順。★印は新会員です。

新会員募集

●入会のお問い合わせ、お申込みは神戸市中央区京町79 南棟
TEL.078(331)3345

旧居留地連絡協議会
神戸市中央区江戸町91 神戸銀行協会内
TEL.078(331)2761

A HISTORY OF THE FOREIGN SETTLEMENT ⑤



テニスがおこなわれ、またスポーツへの女性の参加も比較的早い時期から行われていました。1912年にはクリケットの男女対抗戦の記録が残されています。もちろん男性側はハンディをつけて左手しか使わないとのルールのもとで行われた試合です。クリケットといえば19世紀の英国を代表する紳士のスポーツで、女性は日傘をさしての見物とパターンがきまっていたように思えますが、神戸の外国人女性の活発な様子が目に浮かぶようです。

旧居留地の東隣に位置するこのグラウンドを外国人たちは、通称“Recreation Ground”と呼び、それが“遊園”の語源になっています。「内外人遊園」は「居留地遊園」さらに1962年に「東遊園」と改称

東遊園地は、外国人と日本人のためのレクリエーションの場。

“... as a perpetual trust for the common recreation of Foreigners and Japanese...” 「……外国人と日本人のレクリエーションのため、永久の信頼のもとに……」1875年、東遊園地の使用について、外国人と日本との間でかわされた協定には、このような覚書が明記されていました。土地は日本からの無償貸与・無税。公園造成・維持管理費用は居留民の負担。横浜公園の場合、日本が出資し設計も主導権

をもっていたのとは対比的に、“居留地会議(*1)”が主になって公園造成をすすめました。公園は、覚書の主旨に則って、英語では“Public Garden for Japanese and Foreigners”、日本語では“内外人遊園”の名のもとに協定され、スポーツグラウンドを主とした公園づくりが始まりました。初めてこの公園が使われたのは1877年5月、KR & AC(*2)の競技会が最初です。

当時はクリケット、野球、陸上、

されました。東遊園地は、外国人だけのためのパブリックスペースではなく、外国人と日本人のレクリエーションを通じての交流の場でもあり、またそこから日本に近代スポーツを伝えたという重要な歴史を残しています。

(*1) “居留地会議”

自治権をもった居留地外国人の行司局 Foreign Municipal Council

(*2) “KR & AC”

創立1870年、磯上公園で現在も活動中の外国人スポーツクラブ。

写真は、昔の東遊園地。

「写真集・神戸100年」より